


菊池武雄はうちの学校の体育教師だ。

今時、珍しいくらいに熱血漢で俺みたいな生徒を徹底的に指導することが生きがいなんだと言う。

女子からも「汗臭いしゴリラみたいで嫌だ」とか影で嘲笑らわれているような男。今日も説教だとか抜かして俺は体育館に呼ばれた。

実は俺は数日前からこいつに催眠をかけていた。はじめは半信半疑だったが、それが今日で確信に変わった。

普段偉ぶってるこいつに恥ずかしい思いをさせてやる。そう思って俺は命令を試してみた。



「ん…なんだ…  
なんで俺はここに…。」

催眠は大成功だ。俺は心の中で  
ガッツポーズを取った。

「やだなあ、先生。  
今日は特別授業をしてくれるからって、  
俺を呼んだんじやないですか。」

「おっ、そうだったな！  
俺としたことがすっかり忘れてたよ  
すまんすまん！」

そういうと先生は着ている服を脱ぎ、俺の前の前で  
全裸でガニ股ポーズを取った。



ウホオウホ

ウホ

ドムッ

ドムッ

ドムッ

ドムッ

ドムッ

「んほおおおおおおおッ♡」  
先生は雄たけびを上げると拳を握りしめ、  
自分の胸をたたき出す。  
俺の言うことをなんでも聞く玩具だ。  
次はゴリラの真似をしてみた。

「ほら、先生？あなたは  
なんでですかあ？」  
にやにやとスマホで先生を撮り続けながら  
俺は尋ねる。

「んほっ♡ウホオオッ♡ゴリラっす！俺は  
変態汗臭ゴリラっす♡今まで偉そうに  
説教垂れてすんませんでしたあッ！  
くっせえくっせえ臭いをまき散らすゴリラの分際で  
教師なんて名乗っていましたあ♡うほっ♡ウホオオオッ！！」













